

い〜わ河内の風 50号記念

2005年5月1日にスタートした「い〜わ河内の風」もこの8月で50号を迎えました。毎月1回の発行を目標に4年間続けてきましたが、これからも充実した記事を掲載していきたいと思っています。表題の「い〜わ河内の風」には、いろいろな意味が込められています。



環境アニメイティッドやおの名称に基づき、環境に関する ecology (生態系) から「い」

交流・協力・楽しさを表現しています。

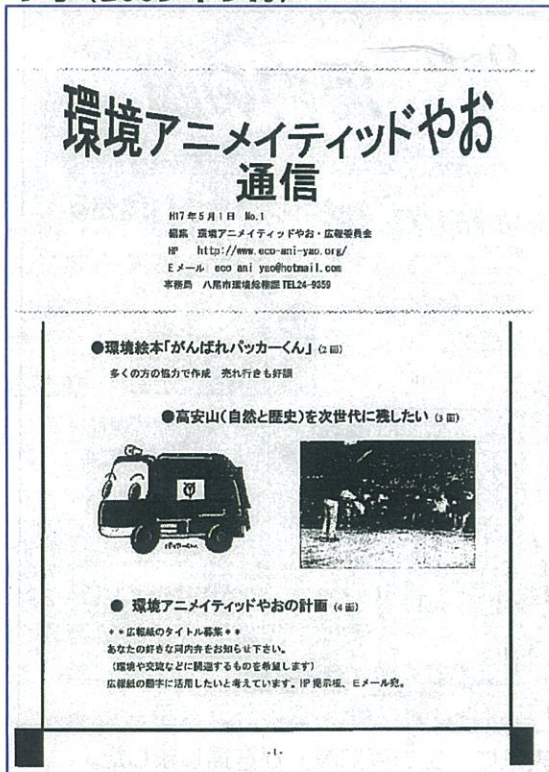
やお・Yao から連想して「わ」です。

歴史豊かな河内（八尾は中河内）に愛着を持ち、この地で環境と循環型地域社会の取り組みを発信しようという意気込み（風）を表現しています。

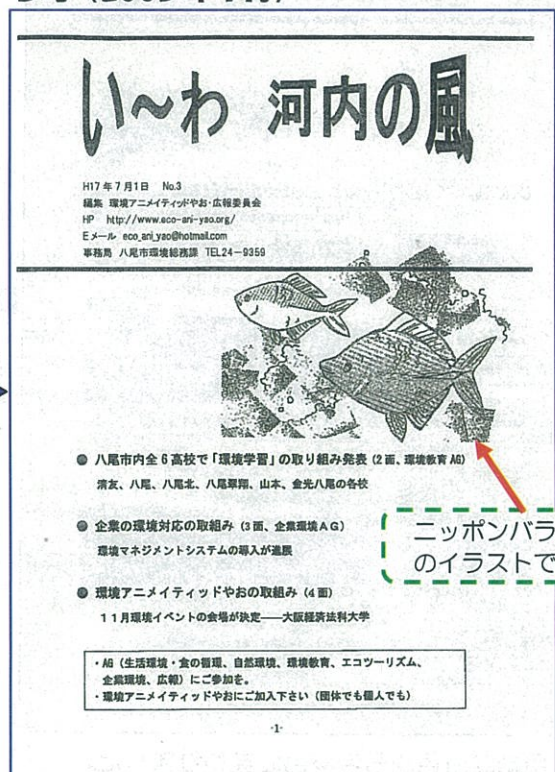
環境アニメイティッドやおにとって、「い〜わ」は**行動**であり、「河内の風」は**目標**を意味します。

4年間のあゆみ (1~49号)

1号 (2005年5月)



3号 (2005年7月)



ニッポンバラタナゴのイラストです。

最初は「環境アニメイティッドやお通信」でした。

表題が「い〜わ河内の風」に変わりました。

7号 (2005年11月)



ようやく広報紙らしい形になってきました。いいきいき八尾環境フェスティバル特別号カラーバージョンです。

8号 (2005年12月)



環境アニメティッドやおのロゴマークが登場しました。

16号 (2006年10月)



用紙が白色から若草色に変わりました。

37号 (2008年7月)



表紙に「エコ豆知識」が登場しました。3ヶ月に1度用紙の色を変えています。

八尾市唯一の広報紙に

環境アニメイティッドやお代表

菅 春水

2002年12月6日に八尾市内の企業、大学、高校、行政等と共に“21世紀を踏まえた魅力ある八尾の環境まちづくり”をテーマに第一回の懇談会を開催しました。

以後回を重ね、2003年2月にこの懇談会の名称を“環境アニメイティッドやお”に決定し、持続可能なまち八尾をめざして、地域から情報発信し、行動する八尾の協議会を目指して歩んできました。

そして、その成果の発表や、取り組みのPR、シンポジウムを通じ、年に一度のフェスティバルを開催し、又、高安山を中心とした里山の保全活動や、生物多様性保全活動等にも取り組んでいます。

これ迄の変遷を通じて、環境アニメイティッドやおの機関紙「い〜わ河内の風」が50号発行を迎えるに当たり、今後の世論を喚起する八尾市唯一の広報紙に発展するよう大きな期待を致しております。

ホームページと広報

環境アニメイティッドやお副代表

能塚 正義

環境アニメイティッドやおのホームページをご覧になったことがありますか。

アドレスは、<http://www.eco-ani-yao.org/>です。

このホームページは、もともとは、大阪経済法科大学の学生が作成したもので、その後、私が手を加えて今日に至っています。

一般論として、ホームページは、情報量を大きくすることが可能で、かつ最新の情報を提供することができます。

環境アニメイティッドやおのような協議会にとっては、情報共有の有効な手段です。「い〜わ河内の風」や最新の取り組みなどを掲載できます。

現在は、頻りに更新ができていませんが、今後、広報委員会の事業の一環として、多くの情報を発信していきます。ぜひ一度ご覧ください。

読者の声

河内の風をいつもありがとう。

創刊号からずっと御誌を愛読しております。手作りで50号まで続けてこられたことに頭がさがります。八尾は産業と自然環境が共生する大阪では珍しい貴重な町です。

御誌を読んでいますと、八尾の息吹が目のまえに伝わってきます。この町の風をこれからも送り届けてください。

(大阪経済法科大学 岩村 等)

八尾市に来て最初の頃は何も知らず、また、地域と接する機会もありませんでした。

しかし、環境フェスティバル等でこの地域の事を知る機会を得て興味を持つようになりました。この「い〜わ河内の風」では、地域の行事や特産を知る事ができ、楽しく読ませて頂いています。

(ECO〜る∞KEIHO 長峰 圭佑)

「高安の森 自然楽校」に参加して

“参加するたびに、1個か2個の木の名前を覚えたら良い”とインストラクターの先生に言われ、それなら自分にも出来るだろうと思い「高安の森 自然楽校」に参加して1年が過ぎた。

自然楽校の名前の通り、山を巡り、自然に親しむことが楽しく、なかなか卒業出来そうもない。次回も、また参加しよう。

(池本 公昭)

「50号記念」号発行、おめでとうございます！

広報紙「い〜わ河内の風」初刊から拝見させていただいていますが、号を重ねるごとに、読みやすく、わかりやすくなってきたように感じます。活動の様子や里山の様子はもとより、各コーナーも楽しみにしているので、今後ともよろしくお祈りします！

(エコブック・ネット 川辺 義則)

あんな記事

2005年から毎年開催されている「いきいき八尾環境フェスティバル」は、紙面の中でも重要な記事でした。

いきいき八尾環境フェスティバル

2005年 1,500名

シンポテーマ
八尾の歴史遺産と里山の再発見



環境について楽しんでもらうため、地元企業による多くのブース出展で盛り上げました。

2006年 1,150名

シンポテーマ
高安山保全プロジェクト



天候不順の中、高安山の自然や歴史にふれながら、清掃活動を行いました。

2007年 2,000名

シンポテーマ
里山シンポジウム



法蔵寺で行われた“やまんねき演奏会”での、口笛と、ギター、バイオリンのコラボレーションに、観客が酔いしれました。

2008年 2,500名

シンポテーマ
多様な生き物が住まうまち・
環境先進都市を目指して



八尾児童合唱団による、“ニッポンバラタナゴ”の朗読劇では、キンタイくんをテーマにした歌も披露されました。

エコ・エコ交流会

2005年度(10号)

- 緑の少年団「いちよう」
- 畑で育て!!おひさまっこ♪子♪己.CO
- エコスタイルグループ
- NPO法人 やお市民活動ネットワーク
- 親と子のいんた〜ねっと YAO

2006年度(22号)

- NPO法人 KARALIN
- 大阪森林インストラクター会 阪奈会
- 刑部緑の会
- 八尾の食文化を考える会
- 元気の種とどけ隊

2007年度(34号)

- 八尾奥様フォーラム
- チーム売る声人
- 社会福祉法人 ポポロの会 後援会
- 大阪府立八尾高等学校 文化祭実行委員会
- 生活科学研究所 菜の花プロジェクト八尾

2008年度(46号)

- 大阪府立八尾高等学校 生徒会
- うどん文化交流会
- 高安山エコミュージアム研究会
- 八尾環境戦隊ゴミレンジャー
- 社会福祉法人 ポポロの会 後援会

**参加
団体**

こんな記事

市民環境講座

テーマは?

- 9号 地域と連携した新しい環境教育
- 10号 みんなが住み続けたいまちづくり
- 13号 歴史遺産を守り里山を保全する取組み
- 14号 脱温暖化=省エネライフのすすめ
- 16号 高安山保全プロジェクトアクションプランづくり
- 34号 あなたは環境問題にどう取組みますか
- 36号 コウノトリの自然再生をめざすまちづくり

ビオトープづくり

- 23号 八尾の原風景を!
学校・地域連携のビオトープづくり開始
- 25号 ビオトープ管理士会 事例発表交流会
- 37号 八尾北高等学校でのビオトープづくり
- 39号 ビオトープ&食育体験開催
- 44号 八尾北高等学校でのビオトープづくり
- 46号 八尾北高等学校でのビオトープ体験

高安の森 自然楽校

- 22号 第1期生募集!
- 23号 開校〜高安山は八尾の自然公園
- 29号 おと越え歴史街道整備(高安山クリーン作戦)
- 31号 山での怪我もこれでばっちり「救急法」
- 32号 第1回もちつき大会(歴史民俗資料館にて)
- 33号 第2期生募集!
- 36号 みんなで高安山と親しむ
- 44号 第2回もちつき大会(歴史民俗資料館にて)

高安山 ふるさと歴史楽校

- 33号 参加者募集!
- 35号 開校〜おと越え探訪コース
- 36号 水呑み地藏への石仏を訪ねて
- 37号 信貴道丁石を訪ねて
- 45号 高安山山ろくの式内社を巡る
- 46号 1年を振り返り次年度の計画

高安山保全プロジェクト

- 20号 高安山山頂の間伐や下草刈り
- 24号 高安山にゲンジボタルが飛ぶよ!
- 25号 ホタルが飛びかう山へ
- 27号 高安山里山保全プロジェクトの取組み
- 30号 ツタの除去できれいにさっぱり
- 35号 高安山山頂の広葉樹とヒノキの間伐整備
- 36号 森林整備を始めて丸2年

環境アニメイティッドやおの活動が

新聞記事にも掲載されました

25号(2007年7月)より



39号(2008年9月)より



28号(2007年10月)より

うれしい



いろいろ

23号(2007年5月)より

◆「キンタイ(ニッポンバラタナゴ)を救う“池干し”の謎」で、NPO法人ニッポンバラタナゴ高安研究会に参加している高校生が、「日本ストックホルム青少年水大賞」の大賞受賞!

27号(2007年9月)より

◆スウェーデンのストックホルムで開催された「ストックホルム青少年水大賞」にNPO法人ニッポンバラタナゴ高安研究会に参加している高校生が世界第3位に輝く!

38号(2008年8月)より

◆環境アニメイティッドやおが、「ニッポンバラタナゴの保護と環境保全」で環境省から交付金を受ける。(2年間、3600万円)
◆八尾高等学校が「コカ・コーラ環境教育賞」受賞!

40号(2008年10月)より

◆八尾北高等学校が「スクールカラーサポートプラン集中支援校」に選ばれる!

41号(2008年11月)より

◆八尾市内高等学校(5校)の企画が「新しい環境教育の在り方に関する調査研究事業」に採択される!

連載しました

「スキです。高安山」

- ・全10回シリーズ 坂上 弘子さん
- ・24号(2007年6月)～
- 38号(2008年8月)に連載

現在連載中です

「高安山は世界の植物園」

- ・全10回シリーズの予定 齊藤 侑三さん
- ・第1回目は41号(2008年11月)にスタート
- ・今後は奇数号に掲載していく予定です。

イーコラム

(今までに登場していただいた方々です)

回	号数	投稿者の名前(敬称略)
1	35号	NPO法人 自然環境会議八尾 宮川 晃
2	36号	チーム売る声人 徳山 吉令
3	37号	NPO法人 中小企業サポート隊 浜田 典弥
4	38号	シルバーアドバイザー八尾 二葉 登代子
5	39号	アクアフレンズ 美濃原 弥恵
6	40号	恩智川環境ネットワーク 高山 晴行
7	41号	Rびんプロジェクト代表 西村 優子
8	42号	ボランティアサークル ピープル 梅村 昌子
9	43号	EMボカシネットワーク大阪 岸 隆美
10	44号	NPO法人 東大阪市民環境会議 松井 容貴子
11	45号	大阪環(わ)の会 会長 桑野 弘二
12	47号	Dog Cube 松村 景子
13	48号	命泉堂薬局 河村 似久子
14	49号	Seek 齋藤 由香

回	号数	タイトル
1	41号	コリノキ
2	43号	イチョウ
3	45号	サンシュユ
4	47号	ユーカリ
5	49号	ウキツリボク

キャッチフレーズ

- ★ みどりいっぱい
元気いっぱい やおの里山
- ★ 高安山は やおの里山
みんなの恋人

読者の声

創刊号より拝読させていただいていますが号を重ねるごとに内容の充実はもとより、紙面の見やすさ読みやすさに読者を意識した広報紙制作の姿勢が伝わってきます。

広報担当のみなさんが目標とされる「読まれる広報紙」づくりは何よりも、読者を意識した作り手の姿勢から創出されると思います。

毎回発行を楽しみにしている一人です。広報委員のみなさん、これからもよろしく！
(市民ネットワークグループCAN 本田 恵美子)

八尾の環境活動を市民の方々に広く知ってもらえる素晴らしい広報紙だと思っております。50号発行おめでとうございます。
(エコブック・ネット 西村 美奈)

広報委員から

色々な人々による環境保全の取組みを目に見える形にするのは1つの醍醐味。創刊号当時のものは恥ずかしくも懐かしい。
(広報委員会責任者 東郷 久)

私の様に、環境問題に無知な者でも出来る事を考えるのが私の役目だと思うので、もっと出来る事を勉強して行きます。
(宮崎 麻沙)

一緒に歩んできた「い〜わ 河内の風」のことを、これまで水と空気の様にごく自然で何も考えて来ませんでした。記念号の発行で振り返ることができて、また節目を感じました。
(事務局 新福 泰雅)

毎回、楽しみながら紙面づくりを行っています。最近はメンバーから色々なアイデアも出てくるので、これからもご期待下さい！
(事務局 山本 直弘)

八尾のかんきょう本 いろいろ

<環境保全とまちづくり>

- ・「**恩智川パートナーシップ**」
恩智川環境ネットワーク会議、1998年（以降）
- ・「**アクアだより**」
アクアフレンズ、1998年（以降）
- ・「**こども環境取り組み集**」
八尾市教育委員会編、八尾市環境部、1999年（以降）
- ・「**パッカーくんをたすけるぞ**」（絵本）
エコブック・ネット、2004年
- ・「**いきいき八尾環境フェスティバル・シンポジウム**」
シンポジウム事務局、2005年（以降）
- ・「**地域ぐるみの河川環境保全活動によるまちづくり**」
八尾の川を考える会、2005年
- ・「**キンタイくんのぼうけん**」（絵本）
エコブック・ネット、2006年
- ・「**高安千塚シンポジウム記録集**」
八尾市教育委員会文化財課、2009年
- ・「**生物多様性の維持と保全**」
タナゴ塾長・加納義彦編、大阪経済法科大学法学会 2009年
- ・「**八尾の個性と魅力**」
八尾の個性・魅力を考える懇話会、1999年
- ・「**八尾の地域づくり**」
八尾地域研究会編、シーーム出版、2007年

<地理、歴史、産業>

- ・「**生駒山地の人文地理**」
藤岡謙二郎編、日本科学社、1961年
- ・「**小説河内風土記**」（小説）全6巻
今 東光、東邦出版社、1977年
- ・「**八尾・柏原の歴史**」
棚橋利光、松籟社、1981年
- ・「**河内木綿史**」
武部善人、吉川弘文館、1981年
- ・「**八尾市史（近代）本文編**」
八尾市史編集委員会編、1983年
- ・「**八尾の歴史と文化財**」
八尾市立歴史民俗資料館、1987年
- ・「**河内地域史**」
村川行弘・小林博編著、大阪経済法科大学出版部、1991年
- ・「**産業集積と中小企業**」
植田浩史編、創風社、2000年
- ・「**大和川付け替え300年**」
大和川水系ミュージアムネットワーク編、雄山閣、2007年
- ・「**大和川流域と高安山**」
八尾市文化財調査委員会、八尾市歴史民俗資料館、2007年
- ・「**大阪・八尾発50年後も輝く中小企業**」
日刊工業新聞社編、日刊工業新聞社、2008年

<写真集、マップなど>

- ・「**環境スケッチブック**」
八尾市環境部環境総務課 1993年
- ・「**目で見る八尾・柏原の100年**」
「八尾・柏原の100年」刊行会編 郷土出版社 1995年
- ・「**八尾生きものマップ**」
八尾市生活排水アドバイザー 1996年
- ・「**八尾市内マップ&紹介**」
八尾市 2000年
- ・「**八尾の史跡散歩マップ**」
八尾市郷土文化推進協議会 2005年
- ・「**やおの祭まっぷ2008**」
“八尾の祭り”を楽しむわくわく実行委員会編

注・紙面の制約から主要なものを掲載。八尾市の行政文書は一部を除いて原則として除外。
(以降)印はその年以降も刊行が継続しているもの。マップは直近のもの。

へんしゅう後記

32号より、最初の編集担当新福さんから引き継いで編集することになりました。しかし、パソコン操作が未熟だったため四苦八苦し、編集どころか1ページ仕上げるだけでも相当数の時間がかかっていました。まだ不慣れな点も多いですが、少しでも読みやすい広報紙になるよう工夫していきたいと思えます。（広報委員会編集担当 奥本 陽子）